

1. R & Dの定義

研究開発（けんきゅうかいはつ Research and development）とは特定の対象を調査して、基礎学問の研究や、目的に応じた応用研究の模索、将来的に発展する技術等の試験を行ない、技術的な優位を得るための活動である。

英語では Research and development を用いることが多く、20 世紀の初頭以降に用いられるようになった言葉である。

2. 中小企業製品および障害者商品の R & D

製造技術・企画営業・流通物流・販売戦略等のノウハウを持つシニアがトータルな製品開発をサポートする「ビジネス・プランナー・システム」の構築

「中小製造業の技術を活かした商品企画」や「障害者商品の R & D」をサポートし、地域産業の活性化を支援し、協働社会を実現する。

地域社会の中小製造業は、一貫した企画・製造・販売の経験がない企業も多い。

地域社会の中小製造業の自立支援と活性化のための新商品開発や新販売方式の開拓。

「障害者商品の R & D」商業ベースとして取り込むことで、「共同開発や共同購買」を進める

現役時代には連携しえなかった異企業間の人材の経験と技術連携を行う。

知的所有権の共同取得の可能性も期待できる。

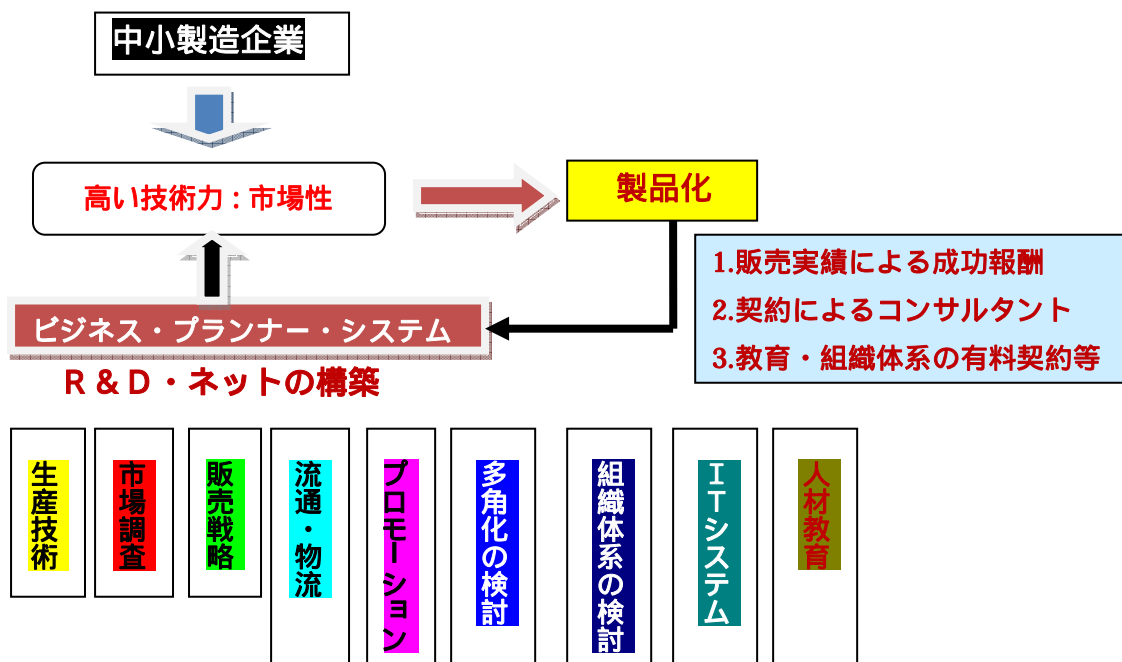
ここで提示する R & D は、従来実施されていた産官学連携の市場原理を取り組んで、「地域中小企業の商品企画」や「障害者商品の商品企画や営業レップ制」の導入の研究である。

セールスレップ・ネットの構築の検討 * 事業-16「[セールスレップ・ネット](#)」参照

- ・得意分野を持ったシニアが共同でネットを構築することで優位性を作り上げることができる。
- ・セールスレップ（販売代理人）の「職務内容」「商品の売り込み」「注文獲得」「メーカーへの注文伝達」が基本的役割となる。
- ・複数メーカーと契約できることとマーケティング情報の収集・報告も業務である。

3. 「ビジネス・プランナー（R & Dプランナー）」システムの構築

3-1 ビジネス・プランナーの活動



3-2 ビジネス・プランナーの組織化の留意点

年数掛けて、人材の確保を進めて行く。そのためには、「ビジョン」を明らかにしておくことが求められる。

「独立したシニアや障害者」が協働する組織づくり
出来たら「LLC(合同会社)」を共同設立し、「義務」と「組織運営の方法」
「報酬の見返り」等を明確にしておくことが望ましい。

*事業-15「LLCの時代と事業構築」

「仕事マッチング：仕事オークション」の検討も可能である

セールスステップ・ネットの構築 *事業-16「セールスステップ・ネット」参照

- ・得意分野を持ったシニアが共同でネットを構築することで優位性を作り上げることができる。
- ・セールスステップは、商品の売り込み、注文獲得、メーカーへの注文伝達が基本的役割となる。
- ・複数メーカーと契約できることとマーケティング情報の収集・報告も業務

中高年・団塊世代...へ戻る

脳卒中障害者...へ戻る